

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当を行う場合 毎年9月30日  
(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)

公告方法 電子公告の方法により行います。  
ホームページアドレス <http://www.honyakuctr.com>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

上場証券取引所 大阪証券取引所  
ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」

証券コード 2483

・住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

見直しに関する注意事項

この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見直しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと異なる可能性があることをご承知おきください。



株式会社 翻訳センター

お問合せ先

本社

〒541-0046  
大阪市中央区平野町2丁目5番8号  
平野町センチュリービル9F  
Tel: 06-6204-1640  
e-mail: info@honyakuctr.co.jp



第23期 期末のご報告

2008年4月1日～2009年3月31日

株式会社 翻訳センター

# 高付加価値サービスをはじめ 積極的な営業展開により 主要4分野のシェア拡大を図ります。



代表取締役社長 東 郁男

## 企業のグローバルな事業展開にともなう 翻訳需要の獲得を目指して

株主のみなさまには、ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。日頃より温かいご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、アメリカ発の金融危機に端を発した国際金融市場混乱の影響により、設備投資の縮小や貿易高の減少など極めて厳しい環境にあります。このような状況のもと、当社グループは、企業のグローバルな事業展開にともなう翻訳需要を獲得すべく、高付加価値サービスの提案など、積極的に営業活動を展開してまいりました。この結果、第23期の当社グループの売上高は45億1百万円(前期比2.6%増)となりました。営業利益につきましては、販売管理費の増加を吸収できず317百万円(前期比21.2%減)、経常利益は314

百万円(前期比22.8%減)、当期純利益は156百万円(前期比23.6%減)となりました。

## 高付加価値サービスや 集中購買化提案に注力

第24期の事業環境は、金融機関や自動車関連などの顧客企業が投資の抑制を継続すると予測され、上半期を中心に厳しい状況になると思われます。

当社グループといたしましては、積極的な営業展開で、特許・医薬・工業・金融の主要4分野におけるシェア拡大を目指します。まず、特許分野では外国出願の絞り込みが予想されますが、新規サービス展開と営業力強化によって顧客数の増加を図ります。医薬分野では、医薬品・医療機器申請資料を作成するメディカル・ライティングなどの「高付加価値サービス」や、メガファーマに発

注先の絞り込みを提案する「集中購買化提案」を推進します。工業分野では自動車産業以外の他産業分野への営業活動も強化します。金融分野につきましては、今後市場の落ち込みは限定的であると予想していますので、売上を安定化させていきたいと考えています。これらにより、売上高は46億円(前期比2.2%増)、営業利益は2億200百万円(前期比30.7%減)、経常利益は2億200百万円(前期比30.0%減)、当期純利益は1億100百万円(前期比29.7%減)を見込んでいます。

## メディア・コンテンツ関連事業や 「翻訳プラットフォーム」の構築を推進

主要4分野のシェア拡大に加えて、日本製コミックやオンラインゲームの外国語化などを推進するメディア・コンテンツ関連事業にも注力する方針です。

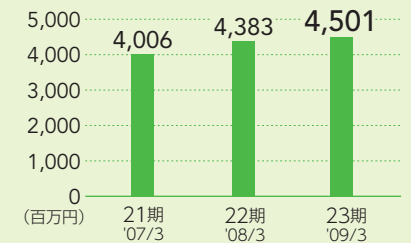
また、収益基盤強化のため、「翻訳プラットフォーム」の構築を推進、当社が保有する翻訳ノウハウや情報資産をデータベースに蓄積し、高品質な翻訳の安定的供給と、翻訳者の作業効率の向上に努めます。

これら施策により売上拡大を図るとともに、コストの増加を最低限に抑え、再び成長路線を描いてまいります。

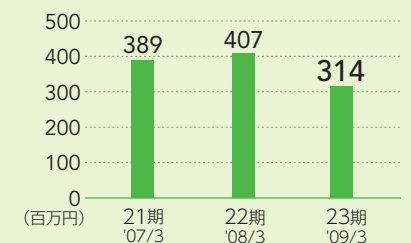
なお、当社グループは株主・投資家のみなさまへの情報開示の手段として、ウェブサイト内のIR情報ページを充実させてまいりました。このたび、その内容が評価され、「2009年インターネットIRサイトの優秀企業580社」(大和インベスター・リレーションズ(株)主催)に選定していただくことができました。今後とも迅速な情報開示に努めてまいりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 財務ハイライト

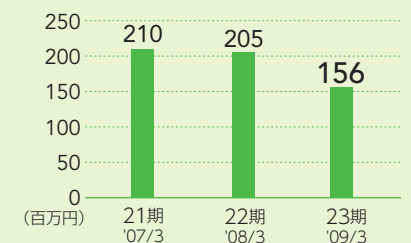
### ◆ 連結売上高



### ◆ 連結経常利益



### ◆ 連結当期純利益



# 産業翻訳サービスの リーディングカンパニーとして 顧客との信頼関係を築いています。

当社は産業翻訳の分野に特化し、高品質な翻訳サービスを提供しつづけております。現在では、優秀な翻訳者を重要な経営資源に、独自の業務管理システムを効率的に活用し、特許、医薬、工業、金融の主要4分野で翻訳サービスを展開。多くの顧客からリピート受注をいただくなど、信頼関係を築いております。翻訳に対するニーズが多様化、高度化する中、これからも質の高いサービスで顧客の信頼に応えてまいります。

**年間受注件数**  
約**39,300**件

当社の事業の中でも、特許、医薬分野は、各種申請や報告書提出時に翻訳書類が必要となります。当社は、このような専門性の高い翻訳作業を特許事務所や製薬会社を中心に受注しています。年間受注件数約39,300件、取引先の約7割がリピーターという実績は、顧客からの信頼の証です。

**約50ヶ国語**に対応

当社では約50ヶ国語の翻訳に対応しています。その中でも日本語・英語間の翻訳が売上の約8割を占めていますが、近年ではBRICsをはじめとする新興国言語の取り扱いが増加しています。また、分野別では特許、医薬、工業、金融を中心に翻訳サービスを展開。特に付加価値の高い特許、医薬分野が売上高の7割を占め、収益の安定化を図っています。

**登録翻訳者** 約**3,800**名

当社は約3,800名(平成21年3月現在)のフリーランスの翻訳者が登録しており、大型案件や短納期案件にも対応可能です。また、優秀な翻訳者が重要な経営資源であると考え、登録の際には語学力、文章読解力、スピード、専門分野の知識・資格の有無など厳しい登録基準を設定し、質の高い翻訳者のみを採用。秘密保持契約を締結したうえで翻訳を依頼しています。

**HONYAKU CENTER**  
New Standards in Translation  
株式会社 翻訳センター

**ビジネスモデル SOLA**

基幹業務システム「SOLA」の翻訳者データベースにより、依頼案件と翻訳者のスキルなどをマッチングし、最適な翻訳者を選定しています。また、翻訳後は社内のネイティブスタッフやドクター、弁理士などの有資格者が訳文をチェックするなど品質管理を徹底しています。

- 翻訳者の適切な品質評価＝適切な原価管理
- 専門分野ごとにコーディネータが対応

**ビジネスモデル**

```

    graph LR
      A[見積もり] --> B[受注]
      B --> C[翻訳者選定]
      C --> D[翻訳]
      D --> E[品質チェック]
      E --> F[DTP最終仕上]
      F --> G[納品]
  
```

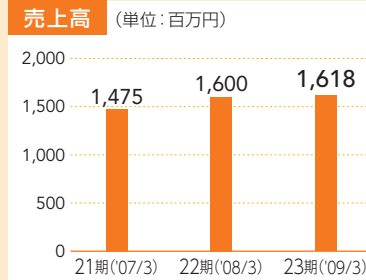
「SOLA」の翻訳者データベースの活用  
翻訳案件と翻訳者のスキルなどをマッチング

コーディネータ、ネイティブ、  
専門家でチェック

特許分野では、バイオ・化学・通信・機械関連の国際特許出願用明細書の翻訳需要は底堅く推移しており、一部の特許事務所で需要減少がみられたものの、企業の知的財産関連部署との取引を拡大できたことから、売上高は前期比1.1%増の1,618百万円となりました。

主な翻訳対象

- 特許明細書
- 優先権証明書
- 特許庁書類書類
- 特許公報



PATENT



特許分野

16.1億円  
35.9%

工業分野

9.8億円  
21.9%

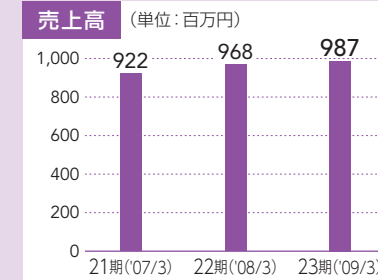


INDUSTRY

工業分野では、自動車関連企業の一部顧客からの受注に大きな落ち込みがみられましたが、エネルギー関連、通信機器関連、ゲーム関連企業からの受注が増加したことにより、売上高は前期比1.9%増の987百万円となりました。

主な翻訳対象

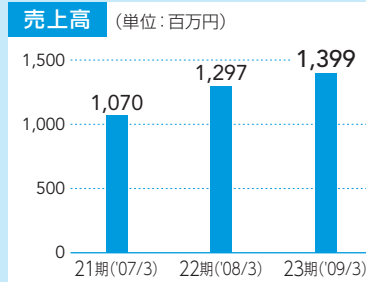
- 取扱説明書
- 仕様書
- 契約書
- 規格書
- 研究論文



医薬分野では、外資系メガファーマからの翻訳受注が堅調に推移したことに加え、内資製薬企業での拡販も奏効し、さらにメディカル・ライティング案件の受注が大幅に増加したため、売上高は前期比7.8%増の1,399百万円となりました。

主な翻訳対象

- プロトコル・スタディレポート
- PMS関連資料
- 医薬学術論文
- 医療機器の取扱説明書 など



MEDICAL



13.9億円  
31.0%

4.0億円  
8.9%

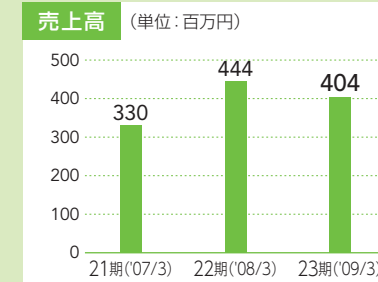


FINANCIAL

金融分野では、外資系金融機関や法律事務所からの売上が落ち込み、底堅いと思われたディスクロージャー関連でも減少傾向がみられた一方で、保険関連企業からの売上が増加したものの全体の落ち込みを補うには及ばず、売上高は前期比9.0%減の404百万円となりました。

主な翻訳対象

- 銀行・証券・保険関連資料
- 財務・会計関連資料
- 金融システムマニュアル
- 各種契約書
- 法務文書 など



## 連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 2009.3.31現在	前期 2008.3.31現在	科目	当期 2009.3.31現在	前期 2008.3.31現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	1,818,902	2,114,332	流動負債	561,063	742,554
<b>1 固定資産</b>	<b>460,706</b>	<b>243,311</b>	固定負債	114,815	120,768
有形固定資産	59,249	64,028	負債の部合計	675,878	863,323
無形固定資産	157,089	15,395	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	244,366	163,886	株主資本	1,609,191	1,497,877
資産の部合計	2,279,608	2,357,643	資本金	399,818	399,536
			資本剰余金	290,198	289,916
			利益剰余金	919,175	808,425
			評価・換算差額等	△ 5,461	△ 3,556
			その他有価証券評価差額金	△ 2,549	△ 1,480
			為替換算調整勘定	△ 2,911	△ 2,076
			純資産の部合計	1,603,729	1,494,320
			負債・純資産の部合計	2,279,608	2,357,643

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## Point ① 固定資産

翻訳支援システム（HC TraTool）の開発に伴う無形固定資産の増加や翻訳の人材派遣サービスを拡大させるため株式会社HCランゲージキャリア（連結子会社）の株式を新たに取得したことなどにより、前連結会計年度末に比べて217百万円増加いたしました。

## Point ② 営業利益

第一次中期経営計画に基づく積極的な人員採用を実施いたしました。第4四半期以降受注に急ブレーキがかかり、通期の売上高が期初計画に達しなかったことから固定費増を吸収しきれなかったためであります。

## Point ③ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは266百万円の支出となりましたが、主な要因としては現在開発中の翻訳支援システム（HC TraTool）の開発による支出や子会社株式の取得による支出等によるものであります。

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 2008.4.1～2009.3.31	前期 2007.4.1～2008.3.31
売上高	4,501,170	4,383,092
売上原価	2,381,570	2,287,038
売上総利益	2,119,600	2,096,053
販売費及び一般管理費	1,802,161	1,692,772
<b>2 営業利益</b>	<b>317,439</b>	<b>403,281</b>
営業外収益	4,163	5,379
営業外費用	7,335	1,436
経常利益	314,267	407,224
特別利益	—	13,362
特別損失	5,742	1,718
税金等調整前当期純利益	308,525	418,868
法人税、住民税及び事業税	137,754	218,074
法人税等調整額	14,206	△ 4,369
当期純利益	156,564	205,163

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 当期（2008.4.1～2009.3.31）

（単位：千円）

	株主資本				評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
2008年3月31日 残高	399,536	289,916	808,425	1,497,877	△ 1,480	△ 2,076	△ 3,556	1,494,320
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	282	282		564				564
剰余金の配当			△ 45,815	△ 45,815				△ 45,815
当期純利益			156,564	156,564				156,564
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）					△ 1,069	△ 835	△ 1,904	△ 1,904
連結会計年度中の変動額合計	282	282	110,749	111,313	△ 1,069	△ 835	△ 1,904	109,409
2009年3月31日 残高	399,818	290,198	919,175	1,609,191	△ 2,549	△ 2,911	△ 5,461	1,603,729

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2009.3.31現在	前期 2008.3.31現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,717,829	2,040,093
固定資産	536,612	365,720
有形固定資産	49,309	36,029
無形固定資産	119,327	14,730
投資その他の資産	367,975	314,959
資産の部合計	2,254,441	2,405,813
<b>負債の部</b>		
流動負債	533,404	707,253
固定負債	112,099	113,772
負債の部合計	645,503	821,025
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,611,487	1,586,268
資本金	399,818	399,536
資本剰余金	290,198	289,916
資本準備金	290,198	289,916
利益剰余金	921,471	896,816
利益準備金	14,434	14,434
その他利益剰余金	907,036	882,381
評価・換算差額等	△ 2,549	△ 1,480
<sub>△ 2,549</sub>		
<sub>△ 1,480</sub>		
純資産の部合計	1,608,937	1,584,787
負債・純資産の部合計	2,254,411	2,405,813

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2008.4.1~2009.3.31	前期 2007.4.1~2008.3.31
売上高	4,291,093	4,200,557
売上原価	2,286,361	2,206,312
売上総利益	2,004,732	1,994,245
販売費及び一般管理費	1,666,758	1,520,599
営業利益	337,973	473,645
営業外収益	4,957	5,570
営業外費用	1,288	339
経常利益	341,642	478,875
特別利益	—	12,847
特別損失	120,048	22
税引前当期純利益	221,593	491,700
法人税、住民税及び事業税	137,300	217,800
法人税等調整額	13,823	△ 4,293
当期純利益	70,470	278,194

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別株主資本等変動計算書

当期 (2008.4.1~2009.3.31)

(単位:千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
2008年3月31日 残高	399,536	289,916	289,916	14,434	882,381	896,816	1,586,268	△ 1,480	△ 1,480	1,584,787
事業年度中の変動額										
新株の発行	282	282	282				564			564
剰余金の配当					△ 45,815	△ 45,815	△ 45,815			△ 45,815
当期純利益					70,470	70,470	70,470			70,470
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								△ 1,069	△ 1,069	△ 1,069
事業年度中の変動額合計	282	282	282	—	24,655	24,655	25,219	△ 1,069	△ 1,069	24,150
2009年3月31日 残高	399,818	290,198	290,198	14,434	907,036	921,471	1,611,487	△ 2,549	△ 2,549	1,608,937

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2009.3.31現在)

- ◇ 発行可能株式総数 51,400株
- ◇ 発行済株式総数 13,095株 (自己株式はありません)
- ◇ 株主数 1,622名
- ◇ 大株主

株主名	持株数
株式会社 ウィザス	3,260株
東 郁 男	679
池 亀 秀 雄	508
浅 見 和 宏	418
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	347
岩 崎 泰 次	305
翻訳センター従業員持株会	293
角 田 輝 久	258
二 宮 俊 一 郎	233
磯 野 由 美 子	230

会社概要 (2009.3.31現在)

- ◇ 商号 株式会社 翻訳センター
- ◇ 設立 1986年4月
- ◇ 資本金 3億9,981万8,000円
- ◇ 従業員数 226名(連結)
- ◇ 事業内容 翻訳サービス業
- ◇ グループ会社 株式会社国際事務センター  
HC Language Solutions, Inc.  
株式会社HCランゲージキャリア  
北京東櫻花翻訳有限公司

役員

- 代表取締役 東 郁 男
- 取締役 浅 見 和 宏
- 取締役 角 田 輝 久
- 取締役 二 宮 俊 一 郎
- 取締役 池 亀 秀 雄
- 監査役 橋 正 宏
- 監査役 妙 中 厚 雄

株式分布状況

